

音楽 I テスト	オペラ 《カルメン》		教科書 『MOUSA 1』	P.68 舞台芸術 P.74 オペラ 《カルメン》 P.76 〈ハバネラ〉 P.77 〈闘牛士の歌〉、ハバネラのリズム
	氏名		得点	/50 点 評価

① オペラについて、正しい文章になるように () の中から1つ選び、○で囲みなさい。(各2点=14点)

16世紀末にイタリアの(ベネツィア ボローニャ フィレンツェ)で生まれたオペラは、その後イタリアを中心にヨーロッパで流行し、19世紀になると、(イギリス ドイツ スペイン)やフランスなど各国でそれぞれ特徴ある作品が多数生まれた。

オペラは、音楽と(小説 伝説 文学)、演劇、美術、(舞踊 民謡 宗教)などが密接に結び付いた(伝統芸能 総合芸術 舞台装置)である。物語は、アリア〔独唱〕や重唱、合唱などの歌唱を中心に展開され、(ピアノ伴奏 バレエ音楽 オーケストラ)を伴う。劇中の登場人物の(声種 曲種 調性)は、それぞれ定められている。

② オペラ《カルメン》について、次の問いに答えなさい。

1) オペラ《カルメン》について、説明として正しいものを次から2つ選びなさい。

- ア ビゼーによって作曲された、全3幕からなるフランス語のオペラである。
- イ フランスの作家メリメが書いた小説をもとに台本化されている。
- ウ ヒロインであるカルメンの声種はメゾ・ソプラノである。
- エ 物語の舞台は、フランスのセビリヤとその近郊である。

(各2点=4点)

--	--

2) 第1幕で歌われる〈ハバネラ〉について、正しい文章になるように () の中から1つ選び、

○で囲みなさい。(各2点=12点)

〈ハバネラ〉は、第1幕でカルメンによって歌われる(アリア 重唱 合唱)である。カルメンは、言い寄る男たちを相手にせず、「恋は扱いにくい(子犬 小鳥 子牛)、誰も手なずけることはできない」と歌うが、自分に無関心な軍隊の伍長(ビゼー エスカミーリョ ホセ)に興味を示す。

タイトルにもなっている「ハバネラ」とは、ゆっくりとした(2拍子 3拍子 4拍子)で演奏されるキューバの舞曲や歌の名称で、キューバの首都(ハバナ バハマ ハバナ)にちなんで名付けられた。ハバネラの特徴的なリズムは、() である。

- ③ オペラ《カルメン》で鑑賞した曲の中から1曲を選び、印象に残ったところや気に入ったところについて、その理由も含めて書きなさい。(10点)

<p>選んだ曲 (○で囲む)</p>	<p>第1幕への前奏曲 第1幕：カルメンのアリア〈ハバネラ〉 第2幕：エスカミーリョのアリア〈闘牛士の歌〉 第2幕：ホセのアリア〈おまえの投げたこの花は〉 第3幕：ミカエラのアリア〈何も怖くないとは言ったけれど〉 第4幕への間奏曲</p>
<p>印象に残ったところや 気に入ったところ、 その理由 (旋律の動き、声質、 楽器の音色、リズム、 速度、強弱、構成など)</p>	

- ④ オペラ《カルメン》を鑑賞したことや実際に歌ったことを通して、オペラ《カルメン》のよさや美しさについて考えたことを書きなさい。(10点)